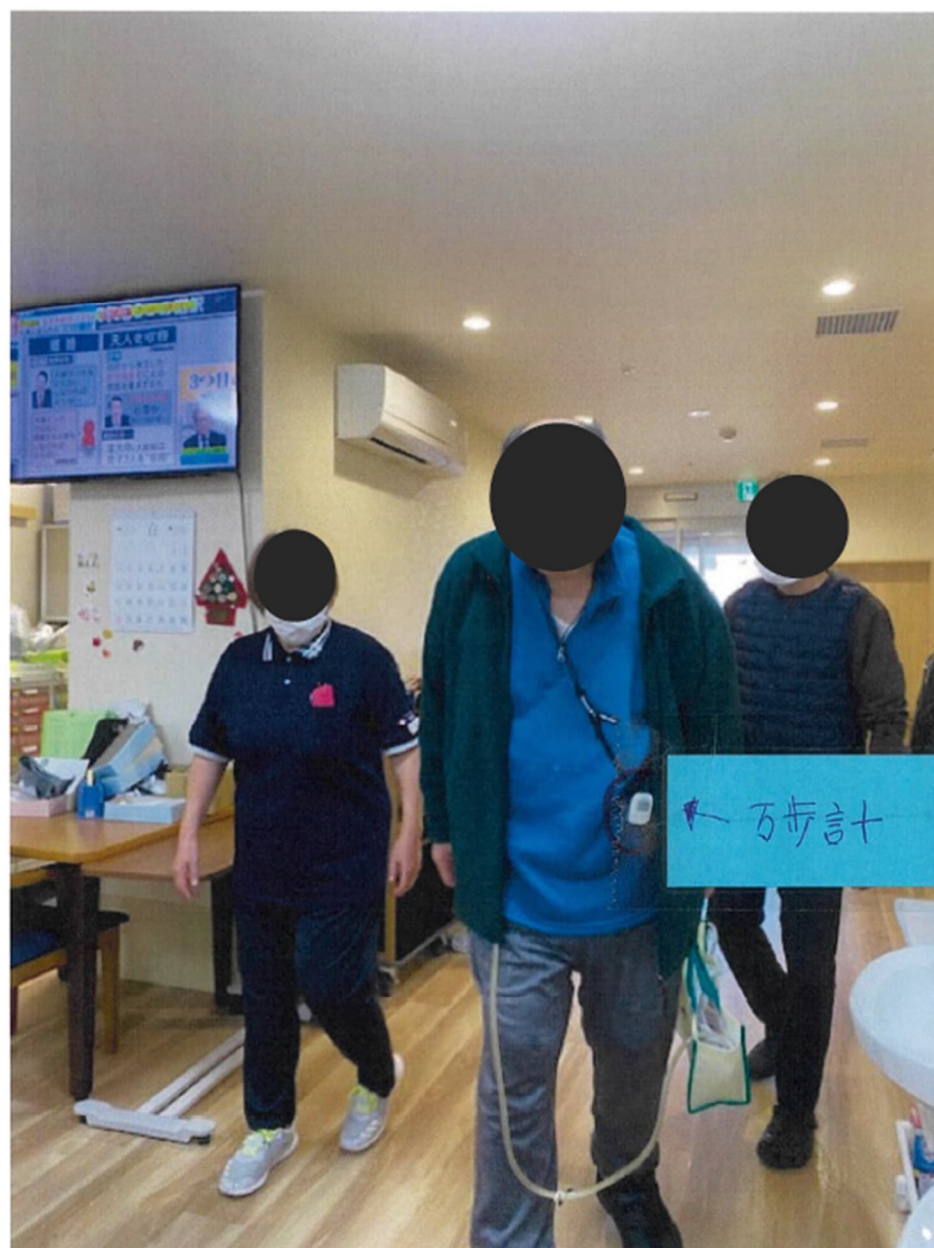


自立支援・重度化防止の取組報告書

法人名	株式会社やさしい手	事業所名	かえりえ加古川尾上
サービス種類	看護小規模多機能型居宅介護	事業所住所	兵庫県加古川市尾上町池田1681-1
取組分野		取組期間	令和6年10月～
☒ 機能訓練 ☐ リハビリテーション ☐ 口腔ケア ☐ 栄養ケア ☐ その他（ ）			
自立支援・重度化防止の取組（概要）			
リハビリ病院退院後に看多機を利用開始。継続したリハビリをご希望のご家族様・ご本人様に対する機能訓練を取り組みました。日常生活動作を中心とした下肢筋力向上を目指す。ご本人のモチベーション維持、ご家族へ適切な経過報告を行いサービスの透明化を行う。			
自立支援・重度化防止の取組（具体的内容）			
タイトル	歩いて帰ろう！歩行訓練の旅。		
きっかけ（経緯）	脳梗塞OPE後、リハビリ病院での運動量を継続したいとのご希望を実現するため。		
取組の特徴	万歩計で歩行訓練が見える化、生成AIを活用した報告書作成		
内容、事例（詳細）			
脳梗塞術後の機能訓練として、看多機通いサービス中の歩行訓練を開始いたしました。 ご利用者様の疾患である高次機能障害による注意力散漫、不穏行動により退院後安定した運動量の確保が困難でした。そこで登山や散歩が趣味で地図がお好きであったご利用者様に相応しい訓練方法を職員で検討しました。 ただ歩くのではなく、1. 万歩計を使用して歩いた距離を確認できるようにする。2. 施設から自宅までの距離（約12km）を目標と定める。上記2点を訓練に取り入れました。 また下肢筋力の低下を不安に感じている奥様へ訓練のご様子、歩行状態等を生成AIを活用し報告書を作成、写真付きでお渡しすることで奥様の不安軽減に努めました。 上記、訓練開始前の準備として、ご利用者様と一緒に歩行訓練目標の地図を作成、自宅までの道のりにある公園や池を中間地点にすることで訓練に対する意欲向上を目指しました。 自宅付近の公園や池、お店を地図で見ながら思い出話をしてくださり、時折涙しながら「懐かしいなー」と感極まる場面も見受けられました。 実際の機能訓練では、「今なんkm歩いた？」「じゃああと何kmまで歩こうか」と歩数を気にしながら、前向きに取り組めるようになりました。また、訓練後地図に印を付けて、「自宅まで残り何kmか」を毎回確認することでモチベーションを維持することに努めました。 奥様へ報告書に合わせて「今日は何km歩きました」と具体的な数字で報告できる点も万歩計のメリットだと感じます。			



← 万歩計

